

仙人通信 179 身延山(1153m)

身延山は、富士川と早川の合流点の西側に位置し、山頂に日蓮宗の総本山である久遠寺の奥之院が安置された山梨 100 名山である。

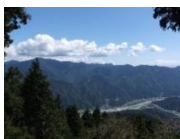
久遠寺本堂の近くの駐車場から、本堂→三光堂→奥之院→感井坊→松樹庵→三門を経て駐車場へ戻るコースとした。(秋霖と台風 24 号の合間の 1 日の晴天でした。)

久遠寺本堂の左隅にあるケーブルカーの乗車口や三門に向かう階段の先の急な林道からの登りである。杉の巨木(径が 1 m もある)の林の中のコースである。コンクリートで整備された 2 m 程の道は、雨上がりにも拘わらず、落ち葉もなく清掃され気持がよい。

このコースは、山頂までを 50 丁に区切り石の丁目杭が設けられており、自分の位置が判り易い。三門から始まるこの杭も本堂の直ぐ上で、既に七丁目である。杉の木立には、墓石が安置され靈験を感じる静かな登りである。道端には、白いコカラマツの花が沢山咲き始め、マムシソウの実も赤く熟れ始めている。歩き始めて 55 分程で 25 丁目にある三光堂だ。

ここからは、杉の葉の落ちたほぼ無舗装のコースとなる。30 丁目からは尾根となり、北側の落葉樹の間から早川方面が望める。37 丁目からは瀬音も加わり、山に登った安らぎを感じる。三光堂から 50 分程で 40 丁目の法明坊と日朗上人井戸跡だ。大きな白い水桶が今も設置され、坊・庵等への水の供給源だ。数株の紫のトリカブトが花を付け、吾を迎えてくれた。44 丁目で杉に檜が混じり、僅かであるが富士川方面が望めた。更に 30 分程進むと富士川方面が大きく開け、毛無山・長者ヶ岳が、又富士川を挟んで十枚山も望めた。奥之院である恩親閣を通り 2 時間半で山頂だ。山頂からは、秩父の金峰山・八ヶ岳・鳳凰三山・白峰三山・荒川三山が、手前には富士見山・策ヶ岳・七面山の山脈が望める。よく晴れているものの白峰三山の山頂は雲の中で残念だ。方位板の横の大きな板にカールプッセのあの『山のあなたの空遠く 幸い住むと人の言う・・・』の詩だ。しばし口ずさみながら山波を観察し、休憩をとった。下山は、尾根より少し下がった林道を七面山に向かい 950m の高さにある感井坊に向かう。このコースも杉林で視界が利かないも時折南面が崩れた七面山が顔を出す。25 分で感井坊だ。ここでコースは、V 字状に身延川の川下(三門方向)に方向を変える。更に 20 分程で千本杉を過ぎ林道と別れて登山道となる。白や黄色のノギク・白いコカラマツ・そしてカリガネソウの群落である。山椒やナナカマドの赤く熟れた実、そして瀬音で癒されながら・・・40 分程で松樹庵である。更に 20 分で河原に出たところで、今度は日本カモシカの出迎えを受けた(2m まで接近!)。鹿等の侵入を防ぐ鉄網の扉の先が妙石坊で、先程の林道と合流だ。身延川の橋から先は、アスファルトの広い道路となり、20 分程で三門に到着し、女坂を 15 分登り駐車場だ。丁度 5 時間 (26000 歩) の山旅でした。(h 30.9. 28)

富士川方面



山頂



南アルプス方面



日本カモシカ

